

## 副学長

### Executive Vice President for Medical Affairs

理事・副学長・病院長 小林 正 Masashi Kobayashi

#### ◆ 著 書

- 1) 小林 正：厚生労働省戦略的アウトカム研究 J-DOIT 研究一かかりつけ医の糖尿病受診中断率の抑制に向けて。福原俊一編，83-88，医歯薬出版，東京，2008。
- 2) 小林 正：インスリン療法マニュアル。第4版，文光堂，東京，2008。
- 3) 山崎勝也，戸邊一之，小林 正：速効型・超速効型インスリン。「糖尿病治療のエビデンス - 薬物療法の光と影 -」田嶋尚子他編，13-19，文光堂，東京，2008。
- 4) 仙田聡子，戸邊一之，浦風雅春，小林 正：チアゾリジン誘導体。「糖尿病治療のエビデンス - 薬物療法の光と影 -」田嶋尚子他編，88-92，文光堂。東京，2008。
- 5) 小林 正，山崎勝也，松岡靖子，今井華夏：糖尿病合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究。「分子糖尿病学の進歩 - 基礎から臨床まで - 2008」清野 進他編，175-183，金原出版，東京，2008。
- 6) 小林 正，山崎勝也：糖尿病対策の現状。「かかりつけ医による糖尿病診療 受診中断率を目指した厚生労働省戦略研究(J-DOIT2)，糖尿病学の進歩(第42集)」日本糖尿病学会編，192-197，診断と治療社，東京，2008。
- 7) 小林 正，山崎勝也：インスリン治療。「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン[改訂第2版]」日本糖尿病学会編，55-65，南江堂，東京，2007。（前年度追加分）
- 8) 山崎勝也，小林 正：糖尿病の診断 糖尿病合併症診断のポイント。「新しい糖尿病の臨床」寺内康夫編，診断と治療社，95(Suppl): 62-68，東京，2007。（前年度追加分）
- 9) 山崎勝也：第6章。ビッグアナイド薬の使い方。「経口血糖降下薬の選び方と使い方」小林 正編，75-95，南江堂，東京，2007。（前年度追加分）

#### ◆ 原 著

- 1) Gomi T., Takusagawa F., Nishizawa M., Agussalim B., Usui I., Sugiyama E., Taki H., Shinoda K., Hounoki H., T. Miwa, Tobe K., Kobayashi M., Ishimoto T., Ogawa H., and Mori H.: Cloning, bacterial expression, and unique structure of adenosylhomocysteine hydrolase-like protein 1, or inositol 1,4,5-triphosphate receptor-binding protein from mouse kidney .*Biochimica et Biophysica Acta*,1784(11):1786-1794,2008.
- 2) Yokoyama H., Sone H., Oishi M., Kawai K., Fukumoto Y., Kobayashi M., and on behalf of Japan Diabetes Clinical Data Management study(JDDM15):. Prevalence of albuminuria and renal insufficiency and associated clinical factors in type 2 diabetes: the Japan Diabetes Clinical Data Management study (JDDM15). *Nephrol Dial Transplant*. 2008 Nov 4.
- 3) Arai K., Yokoyama H., Okuguchi F., Yamazaki K., Takagi H., Hirao K., Kobayashi M., and Japan Diabetes Clinical Data Management Study Group.: Association between Body Mass Index and Core Components of Metabolic Syndrome in 1486 Patients with Type 1 Diabetes Mellitus in Japan (JDDM 13). *Endocrine J*, 55: 1025-1032, 2008.
- 4) Uno T., He J., Usui I., Kanatani Y., Bukhari A., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., Haruta T., Ogawa H., Kobayashi M.: Long-term Interleukin-1 $\alpha$  Treatment Inhibits Insulin Signaling via IL-6 Production and SOCS3 Expression in 3T3-L1 Adipocytes. *Hormone and Metabolic Research*, 40: 8-12, 2008.
- 5) Yokoyama H., Kawai K., Sugimoto K., Hirao K., Takeda H., Oishi M., Minami M., Kudo M., Doi K., Iwasaki K., Fukumoto Y., Sone H., Matsushima M., Takagi H., Kobayashi M., on behalf of Japan Diabetes Data Management Study Group.: Familial predisposition to cardiovascular disease contributes to the prevalence of cardiovascular risk and cardiovascular disease – from baseline features of a diabetic large-scale multicenter-based cohort (JDDM 14).*Atherosclerosis*, 201: 332-338, 2008.

#### ◆ 症例報告

- 1) 川原順子，岸田みか，檜木茂，菓子井良郎，井内和幸，浦風雅春，小林正，戸邊一之：Klebsiella pneumoniae による肝膿瘍と転移性筋膿瘍を発症した2型糖尿病の1例。糖尿病，51(10): 925-928, 2008。
- 2) 岩田実，山崎勝也，宇野立人，薄井勲，石木学，小橋親晃，浦風雅春，小林正，戸邊一之：MPO-ANCA 関連腎炎を合併

した2型糖尿病の1例. 糖尿病, 51(7): 609-614, 2008.

#### ◆ 総説

- 1) 小林 正, 山崎勝也, 松岡靖子, 今井華夏: 糖尿病データベースの構築. *Diabetes Journal*, 36(2): 60-65, 2008.
- 2) 岩田 実, 小林 正, 戸邊一之: インスリン製剤の種類と特徴. I 総論—理論と背景 わかりやすいインスリン治療のベンチマーク. 医歯薬出版, 76-85, 2008.
- 3) 小林 正: 糖尿病とは インスリン作用とインスリン分泌. *糖尿病ケア*, 5(11): 14-16, 2008.
- 4) 山崎勝也, 戸邊一之, 小林 正: 特集 わが国における最近の糖尿病メガスタディ 糖尿病予防のための戦略研究: J-DOIT 2. *Diabetes Frontier*, 19(5): 643-646, 2008.
- 5) 小林 正, 糖尿病データマネジメント研究 (JDDM): わが国における最近の糖尿病メガスタディ. *Diabetes Frontier*, 19(5) 612-616, 2008.
- 6) 小林 正: 生活習慣病抑制に向けての戦略研究. 大阪府内科医会誌, 17(2): 157-169, 2008.
- 7) 小林 正: 糖尿病の予防戦略. J-DOIT 2 の概略と現状: 糖尿病診療の継続の質の向上のために. *Mebio*, 25(6): 102-109, 2008.
- 8) 小林 正, 岩田 実: 糖尿病予備群ならびにメタボリックシンドロームを呈する糖尿病患者に対する対応・方策. メタボリックシンドロームリスク管理のための検診・保健指導ガイドライン. 南山堂, 169-176, 2008.
- 9) 山崎勝也, 戸邊一之, 小林 正, 糖尿病データマネジメント研究会: Computerized Diabetes Care (CoDiC) の概要と活用. *日本臨床*, 66(増刊号 9): 572-580, 2008.
- 10) 小林 正: 【たとえ話で学ぶ!糖尿病の病態生理】 糖尿病とは—インスリン作用とインスリン分泌: 糖尿病ケア, 5(11): 1048-1050, 2008.
- 11) 小林 正: 【糖尿病診療に必要な検査 ABC】: 総合臨床, 57(7): 1865-1868, 2008.
- 12) 小林 正, 浦風雅春, 薄井勲, 戸邊一之: 【新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩】 序論 糖尿病学の今後の課題: *日本臨床*, 66 巻増刊 3 新時代の糖尿病学(1): 49-56, 2008.

#### ◆ 学会報告

- 1) Takikawa A., Iwata M., Kobashi C., Uno T., Ishiki M., Usui I., Yamazaki K., Urakaze M., Kobayashi M., Tobe K.: The validity of the CPR index (CPI) in selecting treatment in a patient with type 2 diabetes mellitus. American Diabetes Association 68th Scientific Sessions, 2008, 6, 6-10, San Francisco.
- 2) Bukhari A., Usui I., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Urakaze M., Kobayashi M., Tobe K.: Effect of Adenovirus-mediated Interleukin-10 Overexpression on Insulin Resistance in High Fat-fed Mice. American Diabetes Association 68th Scientific Sessions, 2008, 6, 6-10, San Francisco.
- 3) Fujisaka S., Usui I., Oya T., Kanatani Y., Yamazaki Y., Bukhari A., Suzuki H., Senda S., Takasaki I., Tsuneyama K., Ishiki M., Urakaze M., Kobayashi M., Tobe K.: Telmisartan Improves Insulin Resistance by Specifically Reducing M1 Macrophage Markers in High Fat-fed Mice. American Diabetes Association 68th Scientific Sessions, 2008, 6, 6-10, San Francisco.
- 4) Kobayashi M.: Metabolic Syndrome and Diabetes Mellitus. The Mechanism and Prevention of Its Complication (Key Note). The 7th international symposium on natural medicine and microflora (7th ISNMM), 2008, 8-4, Toyama.
- 5) 岩田 実, 藤川真理子, 山崎勝也, 薄井 勲, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 市崎雅子, 中川 都, 黒澤 豊: 富山-大山 Study 短期間の生活習慣介入による糖尿病一次予防の試み. 日本病態栄養学会年次学術集会, 2008, 1, 12-13, 京都.
- 6) 山崎 夕, 鈴木ひかり, 岩田 実, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 当科で経過観察中の生体膵腎同時移植を受けた1型糖尿病の2例. 第77回日本糖尿病学会中部地方会, 2008, 4, 26, 富山.
- 7) 藤坂志帆, 岩田 実, 瀧川章子, 薄井 勲, 石木 学, 宇野立人, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 当科外来2型糖尿病患者における CPR index (CPI) 測定の有用性に関する検討. 第77回日本糖尿病学会中部地方会, 2008, 4, 26, 富山.
- 8) 瀧川章子, 岩田 実, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: リネゾリドの投与が MRSA 骨髄炎の沈静化に有効であった2型糖尿病の1例. 第77回日本糖尿病学会中部地方会, 2008, 4, 26, 富山.
- 9) 岡澤光代, 岩田 実, 藤川真理子, 瀧川章子, 小橋親晃, 石木 学, 宇野立人, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 黒崎美千代, 中川 都, 黒澤 豊: 新旧メタボリックシンドローム診断基準の危険因子数か

らみた腹囲の検討. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.

- 10) 瀧川章子, 岩田 実, 岡澤光代, 小橋親晃, 石木 学, 宇野立人, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 2 型糖尿病患者における CPR Index(CPI)を用いた治療選択法の妥当性の検討. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 11) 岩田 実, 藤川真理子, 岡澤光代, 瀧川章子, 小橋親晃, 石木 学, 宇野立人, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 黒崎美千代, 中川 都: 平成 20 年度からの特定健診における有用性と問題点に関する検討. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 12) 藤坂志帆, 薄井 勲, 尾矢剛志, 金谷由紀子, 山崎 夕, アグッサリム ブクハリ, 鈴木ひかり, 高崎一朗, 常山幸一, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: テルミサルタンは脂肪組織の M1 マクロファージを選択的に減少させることでインスリン抵抗性を改善する. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 13) 高野敦子, 朴木久恵, 新敷吉成, 中林智之, 仁井見英樹, 野手良剛, 北島 勲, 高原照美, 小林 正, 戸邊一之: インスリン導入を契機に原発性ヘモクロマトーシスと診断された一例. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 14) 浅水幸恵, 浦風雅春, 小橋親晃, Norel DinAmal Khalifa, 金谷由紀子, BukhariAgussalim, 藤坂志帆, 鈴木ひかり, 山崎 夕, 宇野立人, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 山崎勝也, 小林 正, 戸邊一之: アンジオテンシン II は 3T3-L1 前駆脂肪細胞において TNF $\alpha$  による MCP-1 産生促進作用を増強する. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 15) 鈴木ひかり, 尾矢剛志, 薄井 勲, 加藤一郎, 山崎 夕, 藤坂志帆, 仙田聡子, Agussalim Bukhari, 浅水幸恵, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 笹原正清, 小林 正, 戸邊一之: インスリン分泌低下型糖尿病モデルマウスにおける糖尿病性腎症と PDGF 経路についての検討. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 16) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文, 川井紘一, 平尾紘一, 金塚 東, 奥口文宣, 杉本英克, 大石まり子, 横山宏樹, 戸邊一之, 糖尿病データマネジメント研究会: CoDiC を使用した多施設での糖尿病臨床データの解析 (第 9 報) - 多施設でのアンケート調査とデータ解析 -. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 17) 小林 正: 糖尿病の地域医療のあり方 - 糖尿病推進会議の活動と戦略研究を踏まえて -. 第 31 回日本プライマリケア学会, 2008, 6, 14, 岡山.
- 18) 小林 正: J-DOIT2 のパイロット研究の結果報告. 第 16 回糖尿病データマネジメント研究会, 2008, 7, 26, 東京.
- 19) Fujisaka S., Usui I., Agussalim B., Kanatani Y., Yamazaki Y., Suzuki H., Senda S., Ishiki M., Urakaze M., Kobayashi M., Tobe K.: The Effects of M1&M2 Macrophages on Insulin Resistance In adipose Tissue. 第 13 回アディポサイエンス研究会シンポジウム, 2008, 8, 22, 大阪.
- 20) 小林 正: インスリンの働きから患者ケアまで. 第 25 回糖尿病 UP-Date. 賢島セミナー, 2008, 8, 23, 志摩.
- 21) 小林 正: 糖尿病, メタボリックシンドロームと歯周病 その予防と治療の現状. 第 51 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2008, 10, 19, 四日市.
- 22) 中島一樹, 関根克尚, 丹保惇史, 坪坂康史, 八木廉子, 山崎勝也, 戸邊一之, 小林 正, 佐々木和男: 入浴中のインピーダンス周波数スペクトルおよび呼吸波形に関する研究. 第 23 回生体・生理工学シンポジウム, 2008, 9, 28-30, 名古屋.
- 23) 鈴木ひかり, 尾矢剛志, 薄井 勲, 加藤一郎, 山崎 夕, 藤坂志帆, 仙田聡子, Agussalim Bukhari, 浅水幸恵, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 笹原正清, 小林 正, 戸邊一之: PDGF-beta 受容体 conditional knockout マウスを用いた, 糖尿病性腎症発症における PDGF 経路の役割についての検討. 第 23 回糖尿病合併症学会, 2008, 10, 3-4, 東京.
- 24) 小林 正: インスリンアナログを用いたインスリン強化療法のあり方とその工夫. 第 46 回日本糖尿病学会九州地方会, 2008, 10-11, 久留米.
- 25) 小林 正: 糖尿病予防のための戦略研究 (J-DOIT2) - J-DOIT2 のパイロット研究結果をふまえて - 共同企画「糖尿病患者に役立つ医療情報システムとは」. 第 28 回医療情報学会連合大会 (第 9 回医療情報学会学術大会) ,2008, 11, 23-25, 横浜.
- 26) 中島一樹, 関根克尚, 山崎勝也, 坪坂康史, 丹保惇史, 福永 浩, 中嶋政訓, 八木廉子, 石津京二, 戸邊一之, 小林 正, 佐々木和男: インピーダンス法による入浴中の呼吸波形検出に関する研究. 平成 20 年度日本生体医工学会北陸支部大会, 2008, 12, 13, 金沢.

- 27) 鈴木ひかり, 加藤一郎, 尾矢剛志, 薄井 勲, 山崎 夕, 藤坂志帆, 仙田聡子, Agussalim Bukhari, 浅水幸恵, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 小林 正, 戸邊一之, 笹原正清: 隣ペータ細胞特異的に CaM kinase II (T286D) を過剰発現するトランスジェニックマウスは PDGF の発現亢進を伴う糖尿病性腎症を呈する. 第 81 回日本生化学会大会・第 31 回日本分子生物学会年会合同大会, 2008, 12, 9-12, 神戸.

#### ◆ その他

- 1) 小林 正, 山崎勝也, 金塚 東: CoDiC®データ解析からみた糖尿病専門施設における治療実態(2) - 2 型糖尿病におけるインスリン療法の現状と血糖コントロール状況について -. 糖尿病診療マスター, 5(4): 401-406, 2008.
- 2) 岡澤光代, 岩田 実, 瀧川章子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 市崎雅子, 黒崎美代子, 中川 都, 黒澤 豊: 富山市大山地区におけるメタボリックシンドロームの腹囲径の基準に関する検討. 第 5 回富山糖尿病合併症を考える会, 2008, 2, 13, 富山.
- 3) 岡澤光代, 岩田 実, 瀧川章子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 市崎雅子, 黒崎美代子, 中川 都, 黒澤 豊: 富山市大山地区におけるメタボリックシンドロームの腹囲径の基準に関する検討. 第 5 回富山糖尿病合併症を考える会, 2008, 2, 13, 富山.
- 4) 瀧川章子, 岩田 実, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 関 英子, 松下 功, 鳴河宗聡, 舟田 久: リネゾリドの投与が MRSA 骨髄炎の沈静化に有効であった 2 型糖尿病の 1 例. 第 19 回富山難治性感染症研究会, 2008, 3, 13, 富山.
- 5) 小林 正: 「糖尿病対策推進会議の活動と地域のあり方」 - DOIT 2 の結果報告を踏まえて -. 東北糖尿病合併症フォーラム in 岩手, 2008, 3, 14, 岩手.
- 6) 岩田 実, 瀧川章子, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 2 型糖尿病患者における CPR Index(CPI)を用いた治療選択法の妥当性の検討. 第 14 回インスリン抵抗性研究会, 2008, 3, 19, 富山.
- 7) 瀧川章子, 岩田 実, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 関 英子, 箭原康人, 松下 功, 鳴河宗聡, 舟田 久: リネゾリドの投与が MRSA 骨髄炎の沈静化に有効であった 2 型糖尿病の 1 例. 第 19 回富山難治性感染症研究会, 2008, 3, 13, 富山.
- 8) 岩田 実, 瀧川章子, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 2 型糖尿病患者における CPR index (CPI)を用いた治療選択法の妥当性の検討. 第 14 回インスリン抵抗性研究会, 2008, 3, 19, 富山.
- 9) 加村 裕, 岩田 実, 福島泰男, 瀧川章子, 藤坂志帆, 小橋親晃, 宇野立人, 高野敦子, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 2 型糖尿病患者における CPR index (CPI)の有用性の検討及び SNP 解析. 第 27 回北陸合同内分泌・代謝談話会, 2008, 7, 12, 金沢.
- 10) 小林 正: 「糖尿病合併症抑制に向けての地域医療～戦略研究 J-DOIT 2 の結果を踏まえて～」. 第 48 回浜松生活習慣病病態研究会, 2008, 7, 18, 浜松.
- 11) 小林 正: 生活習慣病・糖尿病の合併症抑制に向けての戦略研究～DOIT 2 の結果報告を踏まえて～. 糖尿病合併症城南セミナー, 2008, 9, 18, 東京.
- 12) 小林 正: 糖尿病合併症に向けての地域医療と戦略研究. 第 6 回阪神糖尿病合併症フォーラム, 2008, 9, 20, 兵庫.
- 13) 藤坂志帆, 薄井 勲, アグッサリム ブクハリ, 金谷由紀子, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 仙田聡子, 石木 学, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 脂肪組織の M1/M2 マクロファージによるインスリン感受性の制御. 第 3 回メタボリックフォーラム, 2008, 10, 23, 富山.
- 14) 小林 正: 糖尿病の病態と治療戦略 - 最近の考え方. 第 5 回 富山 C D E 看護研究会, 2008, 10, 26, 富山.
- 15) 福島泰男, 岡澤光代, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 富山大学附属病院での糖尿病教育入院パスの現状. 第 3 回富山メタボリックフォーラム, 2008, 10, 23, 富山.
- 16) 藤坂志帆, 薄井 勲, アグッサリム ブクハリ, 金谷由紀子, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 仙田聡子, 石木 学, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 脂肪組織の M1/M2 マクロファージによるインスリン感受性の制御. 第 3 回富山メタボリックフォーラム, 2008, 10, 23, 富山.
- 17) 小林 正: J-DOIT 2 とは. 「糖尿病治療中断を防ぐ研究 (J-DOIT2)」研究成果発表会, 2008, 11, 22, 射水.